

2022.12.01

倉吉農業高校で出前講座を開催しました

鳥取県立倉吉農業高等学校 出前講座

1. 講座名 インフラの維持管理
2. 目的 橋梁点検の実習を通じて、建設業への関心を高める
3. 日時 令和4年12月1日(木)11:00~12:30
4. 対象者 県立倉吉農業高校 環境科 森林土木設計コース 2年生9人
5. 場所 講義 県立倉吉農業高校教室
実習 国道313号不入岡大橋
6. 主催 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会(事務局:公益財団法人鳥取県建設技術センター)
7. 計画・実施 鳥取県コンクリート診断士会
8. その他 生徒にクラックスケールをプレゼント(鳥取県コンクリート診断士会より)

日 程 表

実習科目	時間	講師
○講義 ・インフラ維持管理の基礎 ・橋梁点検実習の説明	11:00~11:20	鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
(実習現場へ移動)		
○体験実習(3班体制) ①地上からのコンクリート調査 ・RCレーダーによる鉄筋探査 ・シュミットハンマーによるコンクリート強度推定 ・クラックスケールによるひび割れ幅測定 ・コンクリートの打音調査(不良コンクリート片)	11:30~12:15 (各15分)	①鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
②高所作業車によるコンクリート調査 ・コンクリートの打音調査 ・鋼橋桁の板厚測定		②鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
③コンクリート補修工事の見学 ・含浸材塗布 ・ひび割れ注入		③鳥取県コンクリート診断士会 (株式会社MASUDA)
○体験実習(全員集合) ④ドローンによるコンクリート調査 ・ドローン撮影画像のリアルタイム地上確認	12:15~12:25	④鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
○意見交換等 ・質疑応答、感想等 ・写真撮影	12:25~12:30	鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社 株式会社MASUDA)
(現地解散)		

実習状況



田中講師による講義
(インフラ維持管理の基礎)



コンクリート調査
(RCLレーダーによる鉄筋探索)



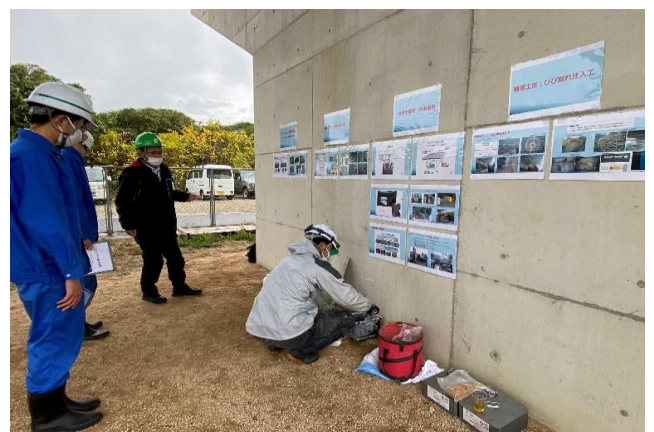
コンクリート調査
(シュミットハンマーによるコンクリート強度推定)



コンクリート調査
(クラックスケールによるひび割れ幅測定)



コンクリート調査
(空洞のある不良コンクリート塊の打音調査)

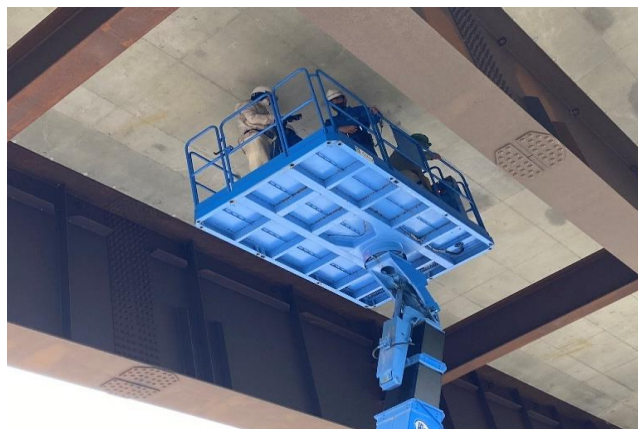


コンクリート補修工事の見学
(含浸剤塗布、ひび割れ注入)

実習状況



高所作業車によるコンクリート調査



高所作業車によるコンクリート調査



高所作業車によるコンクリート調査
(コンクリート床板の打音調査)



高所作業車によるコンクリート調査
(超音波厚さ計による鋼橋桁の板厚測定)



コンクリート調査
(ドローン撮影画像のリアルタイム地上確認)



コンクリート調査
(ドローンから撮影した実習現場)

新聞記事

日本海新聞 2022年12月10日(土)

日本海新聞

2022年(令和4年)12月10日 土曜日

広 域 (20)

ふるさとワイド

とっとり東部・中部

本 社 0557-2880
中 部 0556-8311

現場の調査を体験

橋梁テーマに出前講座

倉吉農高

倉吉市

建設分野の担い手育成しようと、倉吉農高で橋梁をテーマに、理農科森林土木設計コース2年の7人が出前講座でインフラの維持管理について学んだ。鳥取県コンクリート診断士会(田中孝次会長)らが講師を務め、建設工事での建設コンサルタントや建設会社の仕事や役割を説明。近



橋梁の鉄筋の場所を確認する生徒(子爵)

主 題 同校で行われた座学では、田中会長が全国の橋梁は3000年ほどは半数以上が建設後30年を経過する

や橋梁点検、補修の方法などを説明した。

その後、倉吉市不入岡の国道13号不入岡大橋に移動し、体験実習。鉄筋探

査機で橋梁の鉄筋の位置を確認したり、コンクリートをたたいて打音を聞き比べたりした。また、高所作業車に乗ってのコンクリート

打音調査、ドローン撮影の調査も体験した。西田康之くんは「コンクリートをたたいてみると、音の違い

があることが分かった。コン

TOYOTA

(加嶋祥代)

新聞記事

日刊 建設工業新聞 2022年12月5日(土)

(第二版)建設部認可

日刊 建設工業新聞

2022年(令和4年)12月5日(月)

12 合 (2)

Weekly Guide

- 12月5日(月)
◆12月県議会代表質問(白民党)
12月6日(火)
◆柏書町議会12月定例会開会(～13日)
◆古津村議会12月定例会開会(～16日)
◆大山町議会12月定例会開会(～21日)
◆日野町議会12月定例会開会(～14日)
◆日南町議会12月定例会開会(～13日)
◆三朝小学校安全新築祭(三朝町総合文化ホール 午前10時)
◆シノワ技研「マルチビーム測距」デモ(南部町下中谷・青杉ダム 午後1時30分)
12月7日(水)
◆12月県議会一般質問
◆県職工組「電気工事業内理解促進交流研習会」(環境総合技術高校 午後1時)
◆米子県土整備局と県西部支部の意見交換会(県西部総合事務所 午後4時)
12月8日(木)
◆12月県議会一般質問
◆県土木施工管理技士会C1M研修会(県立福祉人材研修センター 午前9時)
12月9日(金)
◆南部町議会12月定例会開会(～21日)
12月10日(土)
12月11日(日)

鳥インフル対応 建設業協会に謝意

11月30日に鳥取市内の養鶏場で検出された鳥インフルで、平井知事は11月10日開会した12月県議会本会議の冒頭「建設業協会をはじめ、関係者に協力いただいている」と述べ、県建設業協会などに感謝の意を示した。県

鳥インフル対応 建設業協会に謝意

11月30日に鳥取市内の養鶏場で検出された鳥インフルで、平井知事は11月10日開会した12月県議会本会議の冒頭「建設業協会をはじめ、関係者に協力いただいている」と述べ、県建設業協会などに感謝の意を示した。県

ドーム上屋は1・9億円 東部建築が公告を準備

鳥取県建設住宅事務所は、チーフ鳥取砂丘(～)の国に設置する、気候環境適応型の上屋新築工

事(ふわふわドーム)な第1、木部第2、北窓第3、立川町団地を対象とした引込開閉調整の引込方式変更、概算工費は860万円で、電気工事B級、このほか、とりさん文化会館(鳥取市向

徳町)の小ホール床材張替工事は、塩ビタイルに更新する。内装工事を対象にした関連条件を決定することにしており、概算工費は460万円。

鳥インフル発生受け 東部建築が運搬業務

11月30日に鳥取市内の養鶏場で高病原性鳥インフル発生が確認されたのを、県東部農林事務所は同日、特定家畜伝染病の応急対策協定に基づき、県東部建設業協会に依頼し、殺処分した鶏の焼却場への運搬を同協会が対応する。

生コン価格値上げ 立米当たり3000円増

鳥取県地区生コンクリート協同組合(高橋哲夫理事長)は1日、生コンクリート価格を改定した。改定後の価格は同

場では日中は一般のみを焼却しており、搬入は午後6時から翌日午前6時まで。1日から搬入開始し、搬入完了には現時点で18日程度かかるとみられる。

生コン価格値上げ 立米当たり3000円増

鳥取県地区生コンクリート協同組合(高橋哲夫理事長)は1日、生コンクリート価格を改定した。改定後の価格は同



平井知事

12月県議会開会

12月定例会開会は1日開会し、新型コロナウイルス感染症や内閣、物価高騰などの対策を盛り込んだ一般計378億9900万円の補正予算案など22議案が提出された。会期は22日まで22日間。

主な補正内容は、特別支援学校施設整備事業に5億8000万円、木材加工流通施設整備を支援し、木材産業の競争力強化に9億6000万円など。公共事業は県営ため池総合整備に1億4000万円、地域高規格道路に2億1500万円など192億9900万円を追加する。補正後の一般会計総額は436億7600万円となる。

今後の議事日程は、代表質問が5日に由良知事答弁範疇、一般質問は7日から6日間。

県建設分野担い手確保・育成連絡協議会(河田英明会長)は1日、県立倉吉農業高等学校の生

徒を対象にインフラ維持管理についての出席講座を開いた。

講師は県コンクリート診断士会(田中孝志会長)が務め、同校環境科森林土木設計コースの2年生7人がインフラ維持管理を通して建設業の魅力を感じた。

県では、インフラ維持管理の基礎を説明し、橋梁工事について解説。体験実習では、国道313号の不入岡大橋で生徒たちが橋梁のコンクリートをシミュレーターで強度判定したり、RCレディーを使い内部の鉄筋を探



RCレディーを使った鉄筋探索

一体型ノンブリーディング充填工法

(国土交通省新技術情報システム登録番号 NETIS QS-190026-A)

- ・強度が強く、各種構造物に適用できる。
- ・高圧空気や水を必要としない。
- ・凍結した構造物にも適用できる。
- ・凍上プラントなどの狭い場所でも施工できます。



ノンブリーディング 充填工法

TM-30022NO 施工要法

サイキ建設工業株式会社

〒680-0264 鳥取県米子市南町1554番地2
TEL:0859-4-0275 FAX:0859-09-3834

インフラ維持を学ぶ 倉吉で出席講座を開く

県建設分野担い手確保・育成連絡協議会(河田英明会長)は1日、県立倉吉農業高等学校の生

徒を対象にインフラ維持管理についての出席講座を開いた。

講師は県コンクリート診断士会(田中孝志会長)が務め、同校環境科森林土木設計コースの2年生7人がインフラ維持管理を通して建設業の魅力を感じた。

県では、インフラ維持管理の基礎を説明し、橋梁工事について解説。体験実習では、国道313号の不入岡大橋で生徒たちが橋梁のコンクリートをシミュレーターで強度判定したり、RCレディーを使い内部の鉄筋を探

査した。また、高所作業車に乗り、鋼構造物の検査測定などを体験した。

田中会長は「新しいものを作るだけでなく、これからは作ったものの維持管理が、インフラを守るという意味でも重要になる。点検、調査、施工など様々な経験を積んで、業界に興味を持ってもらいたい」と話した。

藤本俊彦氏(72)

藤本組代表取締役

藤本組(伯耆町吉良)の代表取締役を務め、県西部建設会館の専務取締役などを歴任した藤本俊彦氏が11月25日に死去した。72歳だった。流れ病は5日午前11時から、伯耆町吉良の光風伯耆ホールで葬儀は同日午後2時から家族葬で執り行な

定後の価格表は同組合のホームページで公表されている。

同組合では生コンクリート価格を昨年10月に改定し、今年8月と10月には県の設計単価も引き上げられた。ただ、その後も原材料価格のほか、燃料、補修費、輸送費なども値上げが続き、生コンクリート価格を1立方メートルあたり3000円値上げすることになった。また、輸送費やコンクリート試験など「価格表の外に割増を要するもの」についても価格改定した。改

定後の価格表は同組合のホームページで公表されている。

同組合では生コンクリート価格を昨年10月に改定し、今年8月と10月には県の設計単価も引き上げられた。ただ、その後も原材料価格のほか、燃料、補修費、輸送費なども値上げが続き、生コンクリート価格を1立方メートルあたり3000円値上げすることになった。また、輸送費やコンクリート試験など「価格表の外に割増を要するもの」についても価格改定した。改

県東部地区生コン

生コン価格値上げ 立米当たり3000円増

鳥取県地区生コンクリート協同組合(高橋哲夫理事長)は1日、生コンクリート価格を改定した。改定後の価格は同

場では日中は一般のみを焼却しており、搬入は午後6時から翌日午前6時まで。1日から搬入開始し、搬入完了には現時点で18日程度かかるとみられる。

生コン価格値上げ 立米当たり3000円増

鳥取県地区生コンクリート協同組合(高橋哲夫理事長)は1日、生コンクリート価格を改定した。改定後の価格は同

場では日中は一般のみを焼却しており、搬入は午後6時から翌日午前6時まで。1日から搬入開始し、搬入完了には現時点で18日程度かかるとみられる。

生コン価格値上げ 立米当たり3000円増

鳥取県地区生コンクリート協同組合(高橋哲夫理事長)は1日、生コンクリート価格を改定した。改定後の価格は同

場では日中は一般のみを焼却しており、搬入は午後6時から翌日午前6時まで。1日から搬入開始し、搬入完了には現時点で18日程度かかるとみられる。